

## 令和3年度第2回運営委員会 議事概要

- ・開催日時 令和4年3月10日（木）13時30分～15時30分
- ・出席者 運営委員…………… 11名出席（欠席委員：4委員）  
           ウイズセンター…………… 所長、副参事2名

議事	概要
1 開会	
2 議事	
(1) ウイズセンターの概要及び令和3年度主な事業実績及び令和4年度主な事業案について ～	ウイズセンター説明
(4) 令和3年度事業概要(詳細)	
[質疑等]	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度のウイズカレッジとゼミナールの事業の実績について、当初の計画を超えてたくさんの方が参加されて良かった。開催されて、その効果—当初目標に対しての評価をお伺いしたい。</li> </ul>
ウイズセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加見込の人数が大幅に増えた。また、実際に受講された方のアンケートによる評価は、「とても参考になった」と「一部参考になった」をあわせて100%のものもあった。オンライン配信については、「わからない箇所を止めて再度確認ができた」「何回でも繰り返し見ることができて身に付いた」といった意見もあった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン講座については、録画しているものは、今後も使える資料としてアーカイブとして残して、必要に応じてアクセスできるようにすると、有効に活用ができると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14ページの資料で、新規の事業でSNSを活用したプッシュ型アプローチ事業について、予算額が220万円で、アプローチ手法が対象年齢を設定して、SNS広告を実施することだが、対象年齢やどのSNSに行くのか、どのようなものなのかお教え願いたい。</li> </ul>
ウイズセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁の男女共同参画青少年課の事業だが、こういった内容の事業を実施すると計画しているもので、具体的にどういった形でやるかという詳細は決まっていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン配信の録画した講座は、講師によっては講演の内容のデータ</li> </ul>

議事	概要
<p>ウィズセンター 委員</p>	<p>が変わっていくので、いつまでもアーカイブで見れるというのではなく、講師の意向もあるが、半年とか1年とか期間設定をして、視聴できるようにすればよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴期間を長くとの御意見について、講師との相談が必要となりますが、御意見を踏まえながら来年度の計画に生かしていきたい。</li> <li>・オンライン配信については、好きな時間で落ち着いた時に自宅で受講できるので良かった。コロナ禍でなくても継続ができるのではないかな。</li> <li>・サロンイベントは参加者が少ないようだが、この事業の目的は何か。</li> <li>・映画のつどいは、古い作品が繰り返し使われているようなので、できれば新しいものを上映してほしい。</li> <li>・DVパネルの市町村以外はどこが利用したのか。</li> </ul>
<p>ウィズセンター 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の事業見直しで、映画のつどいとサロンイベントを交互に実施した。参加者が少なかったため、来年度は中止し、映画のつどいを実施する計画である。</li> <li>・DVパネルは、本庁の男女共同参画青少年課が使用したものである。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン配信については、コロナ禍が落ち着いても、県下全域から参集かオンラインが選べるように、ハイブリッドで実施してほしい。</li> <li>・ツイッターによる情報発信に取り組んでくれて、ありがたい。2000人のフォロワーを作られたことはすごくいいことで、関心の高い方が多いと感じた。</li> <li>・学生が市民団体へ意見を送ったり、市民団体が学生へ意見を求めたりする案件が増えている。若い方は使用するSNSがツイッターからインスタグラムへ移ってきている。インスタグラムを勉強していったらいいのではないかな。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン配信により参加しやすくなった。参加した人も増えて、ツイッターといった発信の仕方によって、多くの方に知ってもらえたのではと思うが、発信の仕方にどのような工夫をされたか聞きたい。</li> <li>・センターにも自習する学生が多いとのことで、今まで来ていなかった方に足を運んでいただくというのは大きい。男女共同参画のDVDや本も借りることにつながる。</li> </ul>
<p>ウィズセンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミナールについては、市町村や団体から参加者の推薦をいただくのだが、御案内の当初からオンラインで実施することを周知していたため、今までだと、会場から距離的に遠かったり、人数の関係から、一度に数名しか参加できなかったが、オンラインになると全員申し込んでも業務に支障が生じなく、時間の制約もないため、県内全域からの申込があった。</li> </ul>

議事	概要
<p>委員</p> <p>ウィズセンター</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自習コーナーについては、若い方が土、日曜日だと開館から閉館までの利用されたり、席が満員に近い日もあり、来られた際に本を借りる方もいる。</li> <li>・引き続き、利用いただけるようツイッターで定期的に発信している。</li> <li>・男性の育児休業取得の促進について尽力しているが、新規の事業で、自治体向けではなく、一般の男性の方へ働きかけるような事業は、どのような状況か。また、そのPRはどのように行うのか。</li> <li>・来年度の新規事業として、育児や家事参加を促す一般向けのセミナーで3回くらいの連続講座を開催予定である。男性のみのアプローチではなく、男性も女性も考える、夫婦そろって参加できるセミナーになればいいなど考えている。</li> <li>・PRは、ホームページ、メールマガジン、ツイッター、フェイスブック、講座の際のチラシ配布で行っていききたい。</li> <li>・男性育休を取った方は二つの意見に分かれるという記事を読んだ。一つは、育休取得を取りやすいようサポート体制が取られている企業。もう一方の企業は、営業職の男性職員の例で育児休暇を取った結果、営業の実績が落ちた結果、人事評価も下がるなど、男性職員が取得をためらうような企業もある。従って、企業に対する働きかけが大切である。</li> <li>・オンラインによって、参加人数が増えたとのことで、今後とも続けてほしい。</li> <li>・男性の育休取得の目標も上がっていないので、企業への周知を進めてほしい。</li> <li>・講座のアンケートについては、受講した結果、今後どのようなことに気をつけたいとか、取り組んでいきたいとかも聞けたらいいと思う。</li> </ul>
<p>ウィズセンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講後のアンケートは、どのようなことが参考になったか、考えさせられたかなども記載していただいております、それを踏まえて、今後の研修に役立てていきたい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15ページの事業目標のSNS広告へのアクセス件数1500件は、どのくらいの県民に対して広告を出しての結果か。県民何万人に広告を出して、その内のどのくらいの割合の人がアクセスするかを想定しているのか。DVとか検索していなくても、広告が出てくるものだと思うが。</li> <li>・本庁の事業とのことだったが、来年度の運営委員会でもいいから教えてほしい。</li> </ul>

議事	概要
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年女性の方へ向けたDV視点のテーマの事業を行ってほしい。</li> <li>・DVと虐待を広く皆さんに周知してもらおう気づきの学習会や研修会も事業計画に入れてほしい。</li> <li>・今の男女共同参画の現実を踏まえた少し進んだテーマで研修会を実施してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイズセンターと同じように講習会や研修会をオンライン等で開催している。</li> <li>・地域の互助会との交流会も実施しており、情報発信の手法などのノウハウを教えてもらいながら進めたい。</li> <li>・女性のための就労支援講座について興味を持っている方が多いようなので、継続して進めて行ってほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイズセンターの拠点性が大きな課題だが、総括的に二つの点について、一層の対策が必要である。</li> <li>・まず一つ目は、DVのことである。コロナ禍で巣ごもりが続くことにより、DVが深刻化する。</li> <li>・二つ目は、女性の就労問題。女性が就労面で大きなダメージを受けざるを得ない。</li> <li>・ウイズセンターだけでなく、岡山市、倉敷市との連携が大事になる。</li> <li>・11月には県立図書館で連携展示が行われ、多くの方がDVの展示を見ていた。県以外の市との連携、公民館との連携、大学との連携、これらとの連携を基にウイズセンターの事業への理解を増やすことが大事。</li> <li>・二つの課題については、運営委員の我々も努力したい。</li> </ul>
4 閉会	